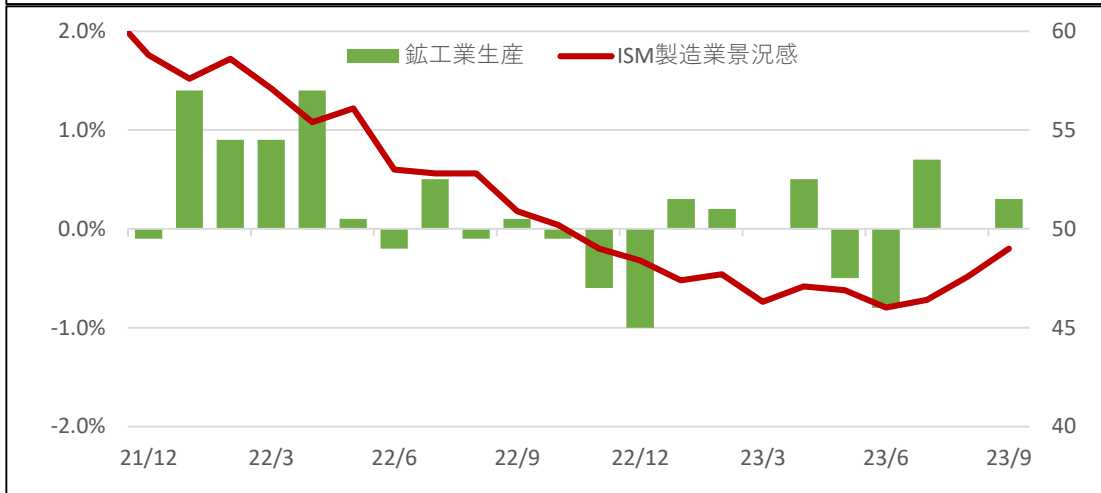
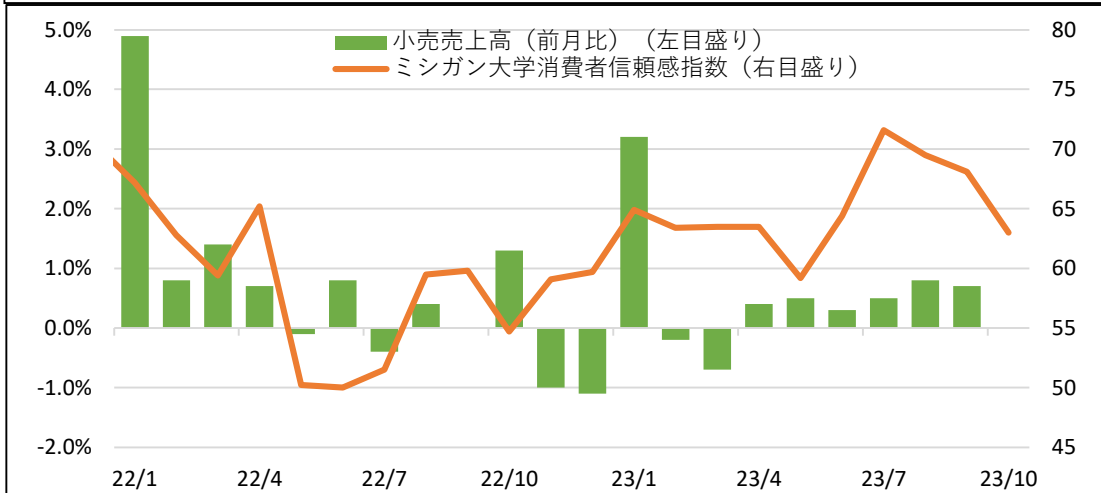


日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾
(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳
9 月米国 消費・生産動向

2023/10/23 第 58 号
朝日田コーポレーション
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp
●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:



(資料)米国商務省、FRB、米国供給管理協会、ミシガン大学資料より作成。

米国経済の屋台骨である消費活動は堅調に推移している。ただし、物価上昇が長引いていることや、米国内の議会問題や海外動向の不安定化を受け、消費者の景況感は悪化傾向をたどっており、先行きの不透明感が高まっている。

一方、一進一退で推移してきた生産状況については、サプライチェーンの復旧に伴う生産活動の正常化を受け、先行きを示唆する ISM 製造業景況感が底打ちし、持ち直しの動きが見え始めている。ただし、消費の弱含みが示唆されているなかで、回復は限定的となる可能性が高い。

今後の米国景気全体については、大幅に悪化する蓋然性は低いものの、消費活動の緩やかな鈍化と共に、徐々に冷え込んでいく可能性が高かろう。